

平成 22 年度練馬区協働事業提案制度事業実施状況について

1 提案事業の募集期間

平成 22 年 11 月 21 日～平成 22 年 12 月 27 日

ねりま区報、練馬区ホームページ、ねりま N P O ニュースで周知

2 事業説明会

11 月 24 日（水）午後 7 時から 勤労福祉会館 4 団体参加

11 月 27 日（土）午前 10 時から 練馬区役所 9 団体参加

3 提案事業応募状況（12 事業）

区が協働で実施を予定している事業への提案（3 事業）

ア 外国人区民と日本人区民との相互理解のための交流会事業 1 事業

イ 練馬大根の P R 事業 1 事業

ウ 認知症介護家族のための相談・家族会支援事業 1 事業

特定分野に関する事業への自由提案（9 事業）

ア 高齢者福祉に関する分野 2 事業

イ 子育て支援に関する分野 5 事業

ウ 防犯・防火・防災に関する分野 2 事業

事業内容等は、別紙 1「平成 22 年度協働事業提案制度 提案事業一覧」のとおり

4 提案前の事業関係課との意見交換の状況

12 事業のうち 8 事業で実施

5 練馬区 N P O 活動支援センターでの支援状況（事業提案時）

支援実績なし

6 一次審査（書類審査）

平成 23 年 1 月 25 日（火）

審査委員 8 名（学識経験者 2 人、各種団体代表 2 人、公募区民 2 人、区職員 2 人）

審査基準 別紙 2「平成 22 年度協働事業提案制度審査基準および審査方法」のとおり

一次審査通過事業 11 事業

7 一次審査通過後の事業関係課との意見交換

11 事業のうち 10 事業で実施

8 練馬区NPO活動支援センターでの支援状況（一次審査通過時）

公開プレゼンテーションに向けて、パワーポイントでの説明資料作成支援（1団体）

9 二次審査（公開プレゼンテーション）

開催日時

平成 23 年 2 月 20 日（日）

公開プレゼンテーションの実施方法

1 団体の持ち時間 25 分（事業説明 15 分以内、残りの時間は質疑応答）

傍聴者

4 5 名

協働の候補事業として採択された事業 8 事業

ア 区が協働で実施を予定している事業への提案（2 事業）

（ア）外国人区民と日本人区民との相互理解のための交流会事業 1 事業

（イ）練馬大根のPR事業 該当事業なし

（ウ）認知症介護家族のための相談・家族会支援事業 1 事業

イ 特定分野に関する事業への自由提案（6 事業）

（ア）高齢者福祉に関する分野 1 事業

（イ）子育て支援に関する分野 3 事業

（ウ）防犯・防火・防災に関する分野 2 事業

詳細は別紙 3 「平成 22 年度 練馬区協働事業提案制度 審査結果一覧」のとおり

10 審査結果の通知・公開

平成 23 年 3 月 3 日 提案団体に審査結果を通知

平成 23 年 3 月 11 日 審査結果をホームページで公開

成 2 2 年度 練馬区協働事業提案制度 提案一覧

提案事業名 / 事業概要	提案 団体名	事業 関係課
<p>外国人区民と日本人区民との相互理解のための交流会</p> <p>外国人区民と日本人区民との相互理解を推進するため、コミュニケーション講座、異文化講座、スポーツを通じた交流会などの事業を実施する。</p>	<p>N e x t ! 練馬 国際振興 協会</p>	<p>文化国際 課</p>
<p>練馬大根の P R 事業</p> <p>練馬大根を P R するため、練馬大根の栽培体験や練馬大根を使ったレシコンクール、料理教室を開催する。また、レシピ集や D V D を作成・発行する。</p>	<p>N P O 法 人 食遊 石神井</p>	<p>都市農業 課</p>
<p>認知症介護家族のための相談・家族会支援事業</p> <p>認知症介護家族が気軽に相談できるよう、認知症介護経験者や認知症サポーターが、電話相談・面接相談を実施する。認知症介護家族として当事者同士という立場で認知症介護家族の心情を受け止め、相談者自身が自分の状況に向き合い課題解決が図れるよう支援する。</p>	<p>練馬認知 症支援ネ ットワー クの会</p>	<p>高齢社会 対策課</p>
<p>高齢者への配食サービスと生活上の困りごとの聞き取りおよび助け合いのネットワークづくり</p> <p>光が丘地域を中心に、外出が困難な方、食事の支度が不自由な方を対象に配食サービスを行うとともに、日常生活のちょっとした困りごとを聞き取り、地域のボランティア団体や N P O 法人と連携を図りながら、課題解決に取り組む。</p>	<p>N P O 法 人 楽膳 倶楽部</p>	<p>高齢社会 対策課 光が丘総 合福祉事 務所</p>
<p>地域拠点「おちゃ福」を利用したの地域支え合い、高齢者見守りネットワークの強化事業</p> <p>地域拠点「おちゃ福」を利用して、高齢者の見守り、相談、イベントなどの事業を実施し、地域資源を相互連携して高齢者の新たなサポート体制を試行させ、地域から発信する有縁社会を再構築する。</p>	<p>大泉地域 の医療と 福祉を考 える会</p>	<p>高齢社会 対策課 大泉総合 福祉事務 所</p>
<p>ねりま子育て情報誌 2 0 1 2 (2 0 0 8 の改訂版) 作成</p> <p>平成 2 0 年 (2 0 0 8 年) に発行した「ねりま子育て情報誌」を改訂する。改訂にあたっては、冊子の作り手を募集し、子育て当事者の目線で内容を企画・作成し、発行する。</p>	<p>ねりま子 育てネッ トワーク</p>	<p>子育て支 援課</p>

<p>子育て支援アートプログラム・イン・ねりま</p> <p>地域の絆の創生につなげるため、保護者と子ども達が共に参加でき、参加者同士がダンス、音楽を作り上げるワークショップを開催する。参加者が「振り」や「メロディ」を覚えるのではなく、一人ひとりの個性を展開させダンスや音楽を楽しみ、参加者同士の交流を図る。</p>	<p>表現クラブがやがや</p>	<p>子育て支援課 地域振興課</p>
--	------------------	-------------------------

提案事業名 / 事業概要	提案団体名	事業関係課
<p>練馬区「旅育プログラム」の策定</p> <p>子育て世帯を対象に、旅を通じ、子どもの健全な成長を促すとともに親のストレス軽減等を図る。「旅育プログラム」を策定し、区民に配布する。</p>	<p>旅人塾</p>	<p>子育て支援課</p>
<p>親子ひろば「LOVEピースclub」</p> <p>子ども（主に2歳以下）の発達に不安を持つ親と子が気兼ねなく遊べ、同じ悩みを持つ者同士の交流を図るとともに、相談を受け入れることで発達への不安を取り除き、必要に応じて、区と連携を図りながら対応していく。</p>	<p>NPO法人 保育サービスぽてと</p>	<p>光が丘保健相談所 障害者サービス調整担当課</p>
<p>子育てひろばスタッフ研修事業</p> <p>練馬区内の子育てひろばスタッフを対象に、子どもの発達を促す遊びと遊び環境の整え方、ストレスを抱える親の話の聴き方についての知識と実践力を得られる研修を実施する。</p>	<p>ねりま遊び子どもネットワーク</p>	<p>子育て支援課</p>
<p>防災への意識啓発につながるパンフレットの発行</p> <p>区全体の防災意識の啓発を図るため、年々参加者が増加している当町会の防災訓練のノウハウを冊子にし、区内の防災訓練を行う団体に配布する。また、大泉北泉町会の防災訓練への視察等も受け入れる。</p>	<p>大泉北泉町会</p>	<p>防災課</p>
<p>防災協定締結自治体との住民同士の連携・交流事業</p> <p>区が他の自治体と締結している防災協定の実効性を高めるため、住民組織同士が相互に行き来し、意見交換や合同防災訓練などを行う。また、常時お互いの情報が交換できるよるインターネットを活用した環境を整備する。</p>	<p>光が丘地区住民組織連合協議会</p>	<p>防災課</p>

平成 22 年度練馬区協働事業提案制度 審査方法

1 一次審査

審査委員会の各委員は、提案団体より提出された協働事業企画提案書等の書類により、下記の審査基準に基づき審査を行う。

審査項目ごとに平均点を計算し、すべての項目の平均点を合計した点数が原則 48 点以上であった提案事業を対象に、審査委員会の合議で二次審査の対象事業を選定する。

2 二次審査

審査委員会は、二次審査の対象となった事業の提案団体からのプレゼンテーションを実施し、下記の審査基準に基づき審査を行う。

審査項目ごとに平均点を計算し、すべての項目の平均点を合計した点数が原則 56 点以上であった提案事業を対象に、審査委員会の合議で協働事業に適した事業を選定する。

審査基準

審査項目	審査の視点	配点
事業の目的・公共性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業を実施することにより、解決する課題、目指す状態が明確になっていること。 ・区民ニーズを把握しており、事業に公共性があること。 	10点
企画力	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に対しての手法が明確かつ妥当であること。 ・団体の特性（専門性・地域性）が活かされていること。 ・実現可能な内容であること。（法律等の課題、関係機関との調整など解決できる見込みがあること。） ・地域や団体等との連携が必要な場合、その内容が盛り込まれていること。 	5点
協働の有効性	<ul style="list-style-type: none"> ・提案団体の役割、区に期待する役割が明確になっていること。（区に依存するような内容になっていないこと。区のもっているノウハウなどを引き出し、活用できる内容になっていること。） 	5点
	<ul style="list-style-type: none"> ・区と協働で行うメリット（きめ細かいサービスの提供、地域の実情に即した的確なサービスの提供、相互補完等）が期待できること。 ・事業を行うことで、地域課題の解決に向けた区民意欲の高揚や、地域活動の活性化が期待できること。 	10点
協働の実現性・実効性	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施規模（対象人数、対象数、実施場所、予算など）が適切であり、実現可能な内容であること。 ・事業の実施工程に無理、無駄がなく、実施可能な内容であること。（準備から実施 企画、周知等を含む までの事業期間が明確かつ妥当な内容になっていること。） 	10点
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施規模に応じた人員が確保できていること。 ・事業の実施に伴う必要な人材（人員や専門知識を有する者、経験者など）や機材等の確保・配置ができていること。 	10点
	<ul style="list-style-type: none"> ・成果を判断するための指標が明確かつ妥当であり、具体的な成果として期待できる内容であること。 	5点
	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業を実施するうえで、過去に類似の活動実績があること。 ・活動実績が活かされることが期待できること。 	5点
	<ul style="list-style-type: none"> ・発展性、将来性（自立化など）が期待できること。 ・次年度以降も、協働の成果が活かされることが期待できること。 	5点
事業費	<ul style="list-style-type: none"> ・収支予算書の記載内容や積算根拠が明確かつ妥当であること。（提案内容を実施するために、妥当な経費見積もりになっていること。） 	5点
	<ul style="list-style-type: none"> ・費用に見合う成果が期待できること。 	10点

平成 22 年度 練馬区協働事業提案制度 審査結果一覧

1 採択された提案事業

提案事業名	提案団体名
外国人区民と日本人区民との相互理解のための交流会	Next!練馬国際振興協会
認知症介護家族のための相談・家族会支援事業	練馬認知症支援ネットワークの会
高齢者への配食サービスと生活上の困りごとの聞き取りおよび助け合いのネットワークづくり	NPO法人 楽膳倶楽部
ねりま子育て情報誌 2012 (2008の改訂版)作成	ねりま子育てネットワーク
親子ひろば「LOVEピースclub」	NPO法人 保育サービスぼてと
子育てひろばスタッフ研修事業	ねりま遊び子どもネットワーク
防災への意識啓発につながるパンフレットの発行	大泉北泉町会
防災協定締結自治体との住民同士の連携・交流事業	光が丘地区住民組織連合協議会

2 不採択となった提案事業

提案事業名 / 事業概要	提案団体名
<p>練馬大根のPR事業</p> <p>(講評)</p> <p>練馬大根のコンテナ栽培やレシピコンクールの実施など、区民参加を得ながら進める事業は、企画力の点では評価がありました。</p> <p>しかしながら、一つ一つの事業を遂行するための実施内容や実施体制が、企画書やプレゼンテーションにおいては、十分に練られていないとの判断から評価が低くなりました。また、レシピ集やDVDを作成し、どのように活用することで、事業の目的を達成していくかが明確でなかった点も、協働の実現性・実効性、事業費の明確性・妥当性、費用対効果の部分で評価が低くなり、残念ながら不採択になりました。提案内容の個々の取組について、具体性があり、事業の効果・成果についても、広く区民にPRができるような内容であれば、より評価が高くなったと思われます。</p> <p>今後、貴団体のノウハウを活かし、更に練馬大根のPRとブランド力が高まる企画を期待しています。</p>	NPO法人 食遊石神井

提案事業名 / 事業概要	提案団体名
<p>地域拠点「おちゃ福」を利用したの地域支え合い、高齢者見守りネットワークの強化事業</p> <p>(講評)</p> <p>地域の団体や個人が連携して支え合うネットワークへの取り組み、地域拠点の整備については、団体の意識の高さが伺えました。</p> <p>今回の提案では、ネットワークの構築や地域拠点の活用に重点が置かれているように思われました。ネットワークを構築するための事業やボランティアを養成するための事業など、さまざま実施する企画ではありますが、「おちゃ福」を会場とすることにより、参加人数を狭めてしまい、地域全体への広がりが感じられなかったのが残念でした。また、高齢者の見守りに関しては非常に重要な課題ではありますが、ネットワークの強み、地域資源が連携するからこそできる事業になっていなかったこと、区の役割が講師の派遣と活動への経費の負担のみであったことなどから、事業の公共性や協働の有効性、協働の実現性・実効性、費用対効果の部分で、評価が低くなり、残念ながら不採択になりました。</p> <p>今後、ネットワークの成果を活かして、ネットワークでなければできない事業を区と協働で取り組むことにより、地域課題、地域ニーズに対して更に高い効果を生む提案を期待しています。</p>	<p>大泉地域の医療と福祉を 考える会</p>
<p>子育て支援アートプログラム・イン・ねりま</p> <p>(講評)</p> <p>事業の目的が明確であり、事業の目的を達成するために団体のネットワークを活かして様々な分野で活躍するアーティストとともに行う事業はユニークであることから、事業の目的・公共性や企画力の点では高い評価となりました。</p> <p>しかしながら、区の役割分担としては、場所の提供と経費の負担だけであることや、事業の目的が地域の絆の創生につながるプログラムの提供としながらも、事業実施後に参加者がどのように地域と繋がっていくかという点で具体的でなく、協働の有用性や協働の実効性の点で評価が低くなりました。さらに、芸術性が高い事業であるにも関わらず、参加費などを徴収するなどの工夫が見られないことから、事業費の点で評価が低くなり、残念ながら不採択になりました。</p> <p>しかし、事業内容がユニークであり、ワークショップなどで身体全体を使った活動は、子育て支援事業としても注目される事業であると思います。区と連携をすることによって、事業実施後の参加者が地域とのつながりが具体的にイメージされている事業内容であれば、より評価が高くなったと思われます。</p>	<p>表現クラブがやがや</p>

提案事業名 / 事業概要	提案団体名
<p>練馬区「旅育プログラム」の策定</p> <p>(講評)</p> <p>子育て支援として「旅育」をテーマに練馬区独自の「旅育プログラム」を策定し、冊子にまとめて区民に配布する企画は独自性があり、子育て支援の一つには考えられる企画ではあると考えます。しかしながら、区民ニーズが把握されておらず、子育てを取り巻く現状の課題として、優先度も高くないとの判断から、区と協働で取り組む事業としての公共性や協働の有用性、協働の実効性などの点で評価が低くなり、残念ながら不採択となりました。</p>	<p>旅人塾</p>